

九州高等学校理科関係職員 様

第61回九高理長崎大会委員長
長崎県高等学校・特別支援学校教育研究会理科部会長
長崎県高等学校理科教育研究会会長

古賀 巖

令和5年度 第61回九州高等学校理科教育研究会

長崎大会のご案内

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の大会を下記の要領で開催いたしますので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、理科教育の振興と充実のため、理科関係職員の参加について、格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 目的 理科教育に関する研究発表、意見発表、研究協議、講演及び野外研修を行い、九州各県における理科教育の振興と発展を図るとともに、九州高等学校理科教育研究会の定期総会を開催する。
- 2 主催 九州高等学校理科教育研究会
長崎県高等学校・特別支援学校教育研究会理科部会
長崎県高等学校理科教育研究会
- 3 後援 文部科学省 公益財団法人日本教育公務員弘済会長崎支部
長崎県教育委員会 佐世保市教育委員会
- 4 期日 令和5年8月2日(水) 総会、全体会講演、分科会(意見発表、研究協議)
8月3日(木) 分科会(研究発表、講演)、野外研修
- 5 会場 アルカス SASEBO
〒857-0863 佐世保市三浦町2-3 TEL: 0956-42-1111

6 日程

・第1日目 8月2日(水)

9:00~9:30 受付	9:30~10:40 開会式・総会・表彰式	10:50~12:20 全体講演	昼 食	13:30~16:00 分科会(意見発表・研究協議)
-----------------	--------------------------	---------------------	--------	-------------------------------

・第2日目 8月3日(木)

9:00~10:20 分科会(研究発表)	10:50~11:50 分科会講演	11:50~12:05 閉会行事	13:00~ 野外研修
-------------------------	----------------------	---------------------	----------------

7 費用 一人あたり 5,000円

8 事務局 九高理長崎大会事務局

〒857-0136 長崎県佐世保市田原町 130-1

長崎県立佐世保西高等学校内 長崎大会事務局

事務局長 植島 雄飛

TEL 0956-49-2528

FAX 0956-49-3094

E-Mail ueshima3855@news.ed.jp

9 大会主題 「“主体的・対話的で深い学び”を育む理科教育の在り方」

＜主題設定趣旨＞

科学技術の進歩に伴い社会が急速に変化しており、Society5.0という新たな時代を迎えようとしています。そのような新たな時代に対応できる人材育成を目指して、令和4年度から新しい学習指導要領が実施されています。今回の学習指導要領の改訂は、学力の3要素という学びの重要な要素が明確に掲げられており、特に、3つ目の「主体的・対話的で深い学び」の姿勢はこれからの時代を生き抜く上で欠かせない要素として注目されています。現在、SDGsを含め、教科横断型の探究学習が進む多様な学びの中で、いかに科学的論理的な思考力を育成し、主体的・対話的で深い学びに向かう科学人材を育成していくのか、高校の理科教育の在り方を模索し、進展を図っている段階にあります。そこで、今回はそのような試行錯誤の実践発表や研究発表を通して研鑽を深め、未来を切り拓く資質・能力を育成する一助になることを願い、このテーマを設定したところです。

10 分科会及び分科会の協議題目等

- 物理分科会 題目「主体的・対話的で深い学びを育む物理教育の在り方」
- 化学分科会 題目「主体的・対話的で深い学びを育む化学教育の在り方」
- 生物分科会 題目「主体的・対話的で深い学びを育む生物教育の在り方」
- 地学分科会 題目「主体的・対話的で深い学びを育む地学教育の在り方」
- 実験実習分科会 講演、発表および実験実習の実践

11 全体講演者、分科会講演者並びに演題

	氏名	所属	発表題目
全体	満屋 裕明 氏	国立国際医療研究センター研究所長	抗ウイルス薬の研究・開発と展望：疾患との戦いはサイエンスを手にしての戦い ～次のパンデミックに備えて /HIV・HBV・SARS-CoV-2～
物理	大山 健 氏	長崎総合科学大学工学部工学科	宇宙を再現する？ 高エネルギー原子核物理の最前線
化学	中谷 久之 氏	長崎大学大学院工学研究科	長崎県近海におけるマイクロプラスチックの種類別分布とそのモデル作製
生物	邑上 益朗 氏	環境省自然公園指導員	生物教師とナチュラルリスト
地学	松島 健 氏	九州大学地震火山観測研究センター	九州の地震・火山噴火活動
実習	松尾 公則 氏	長崎女子短期大学	実習教員との協力でやれたこと

12 分科会指導助言者

	所 属	職	助言者名
物理分科会	長崎大学教育学部	准 教 授	福山 隆雄
化学分科会	長崎大学教育学部	教 授	星野 由雅
生物分科会	長崎県教育庁高校教育課	係 長	三好 啓介
地学分科会	長崎県教育庁教育DX推進室	指導主事	近藤 孝司
実験実習	九州文化学園高等学校	副 校 長	木原 修一

13 各分科会発表者

○物理分科会

意見発表者		発表題目
福岡女学院 中学校・高等学校	オチアイ ミチオ 落合 道夫	一人一台端末によるジャスト・イン・タイム指導法を用いた物理基礎の実践
大分県立鶴崎高等学校	タカセ ゲンタ 高瀬 源大	失敗を前向きに捉え主体的に学ぶ姿勢をもつ生徒の育成について
熊本県立済々黌高等学校	ハセガワ ジュン 長谷川 潤	化学におけるエンタルピーの導入における物理と化学の教科の連携について
沖縄県立豊見城高等学校	ニシカワ ヨシヒロ 西川 昌裕	「主体的に学習に取り組む態度」を育む授業の工夫
研究発表者		発表題目
佐賀県立致遠館高等学校	ミヤゾエ トモユキ 宮副 智之	反発係数の実験を通じた、主体的・対話的な学びのきっかけづくり
長崎県立長崎東高等学校	ハラグチ トシアキ 原口 俊明	探究の森の歩き方 ～長崎県立大村高等学校でのSSH研究開発をもとに～
宮崎県立日向工業 高等学校	イケダ ヒロシ 池田 寛	教科指導で手軽に導入できたICT活用の事例
鹿児島県立鶴翔高等学校	オバマ カンジ 小濱 寛二	「高等学校物理における主体的・対話的で深い学びを促進する指導方略の研究ーメタ認知を促すワークシートの活用を通してー」

○化学分科会

意見発表者		発表題目
佐賀県立三養基高等学校	ヒライシ テツロウ 平石 徹郎	ICT機器を用いた家庭学習の提案
長崎県立佐世保北 高等学校	オオクボ ヤスヒロ 大久保 泰裕	一人一台端末を活用した授業改善について
宮崎県立宮崎大宮 高等学校	ハシグチ ヨシフミ 橋口 宣文	化学実験を中心においた国際交流の提案
鹿児島県立国分高等学校	カワノ ユウイチロウ 河野 裕一郎	高校化学における探究授業の実践
研究発表者		発表題目
福岡県立小倉南高等学校	タナカ モトキ 田中 基幹	物質量の学習における教材の利用について
大分県立盲学校	ホリ ナナエ 堀 奈々絵	振り返り活動を通じた知識力・思考力を育てる基礎研究

熊本県立鹿本高等学校	アナミ ミキ 穴見 美希	理科と他教科のクロスカリキュラムの実践による成果と課題
沖縄県立糸満高等学校	フジキ ジュンペイ 藤木 淳平	主体的に学習に取り組む態度を育むための授業の工夫 －ICTを活用した授業実践を通して－

○生物分科会

意見発表者		発表題目
福岡県立玄界高等学校	キノシタ ナオヒコ 木下 尚彦	教科書における研究史の扱いの減衰傾向について
佐賀県立鹿島高等学校	ナカヤマ トモフミ 中山 智文	一人一台端末を活用した生徒の理解度の把握
長崎県立長崎明誠 高等学校	ツチハシ ケイイチ 土橋 敬一	探究活動の指導を振り返って
大分県立安心院高等学校	ヨシダ トモコ 吉田 朋子	観点別評価の事例～生物基礎編～
研究発表者		発表題目
九州学院高等学校	カワタ マサフミ 河田 雅文	天草西海岸の水中生物
宮崎県立宮崎東高等学校	ナカハタ ヨシロウ 中畑 芳郎	宮崎県生物実験・観察ノートを通して
鹿児島県立楠隼高等学校	ヤマシタ ヒロアキ 山下 広哲	桜島の遷移
沖縄県立嘉手納高等学校	チバナ フミナオ 知花 史尚	「知識に命を吹き込む体験的学びと外部連携で育む使命感の育成」～自然ガイドの育成と地域教育を取り込んだ授業デザイン～

○地学分科会

意見発表者		発表題目
熊本県立宇土高等学校	ホンダ エイキ 本多 栄喜	探究型授業と観点別評価
宮崎県立延岡星雲 高等学校	イノマタ タクロウ 猪俣 拓郎	科学と人間生活で どう防災教育を行うか
鹿児島県立屋久島 高等学校	ヤマモト ナルヒト 山本 成人	野外調査におけるドローンの活用
沖縄県立北山高等学校	カネシマ タツヤ 兼島 達也	「学びに向かう力」を育む授業づくりの工夫－気象分野における単元課題の設定及び観察・実験を通して（第2学年）－
研究発表者		発表題目
佐賀県立盲学校	ニシムラ アツシ 西村 篤志	盲学校における地学教材の工夫
長崎県立長崎西高等学校	フジワラ ヒデキ 藤原 秀樹	地学基礎における探究型授業について
大分県立三重総合 高等学校	ヨシオカ ケンジ 吉岡 賢二	自然科学部の活動を通して

○実験実習分科会

発表者		発表題目
熊本県立八代高等学校	ハマダ ユカ 濱田 夕架	「熊本県理科実習教師の会～活動と歩み～」
鹿児島水産高等学校 大口高等学校	ヒダカ ヒデキ 日高 秀輝 カミノノ シゲル 神園 茂	任用替えの実習助手として (共同発表)
福岡県立育徳館 高等学校	フルタ マサミ 古田 雅美	「実習助手とは」(理科と教諭とを結ぶ架け橋となる事が求められるのではないか。)
福岡県立光陵高等学校	テラダ サオリ 寺田 沙織	藍染め実験の教材研究と実践
佐賀県立佐賀北高等学校	イワキリ タケハル 岩切 丈治	後片付けまでを視野に入れた、実習の準備と指導
大分県立 日田三隈高等学校	オガワ マキ 小川 真紀	薬品管理について
長崎県立 佐世保南高等学校	ミヤタ ムツコ 宮田 睦子	業務課題や困りごとから発見！薬品管理・実験・物品管理のアイデア事例

14 野外研修

Aコース：「平戸めぐり」

場 所 平戸北中部

講 師 平戸の自然・文化・歴史研究会理事長／自然遊学塾塾長 邑上益朗

準 備 個人：帽子、タオル、水筒、運動靴 世話係：ポリ袋、救急箱

参加費 無料

行 程	13：15	アルカス SASEBO 出発
	14：30	川内峠（インフォメーションセンター）…歌碑・塩上石・中江ノ島 川内峠展望所…北九十九島・他
	15：00	第2駐車場→（山中交差点）→（紐差）
	15：30	根獅子・人津久海水浴場…砂浜・風景
	16：00	春日集落…世界遺産→（西側バス道路）→（川内）
	16：30	千里ヶ浜…トイレ休憩後、出発
	17：30	佐世保駅到着

Bコース「西日本流体技研・KTX 見学」

場 所 株式会社西日本流体技研（佐世保市小佐々町黒石 339-30 Tel0956-68-3500）

KTX 株式会社長崎平戸ラボラトリーズ（平戸市田平町古梶免 11-11 Tel0950-29-9400）

参加費 無料

行 程	13：15	アルカス SASEBO 出発
	13：50	西日本流体技研 到着・見学
	15：00	西日本流体技研 出発
	15：30	KTX 株式会社 到着・見学
	16：40	KTX 株式会社 出発
	17：30	佐世保駅到着

アルカスSASEBO周辺地図

